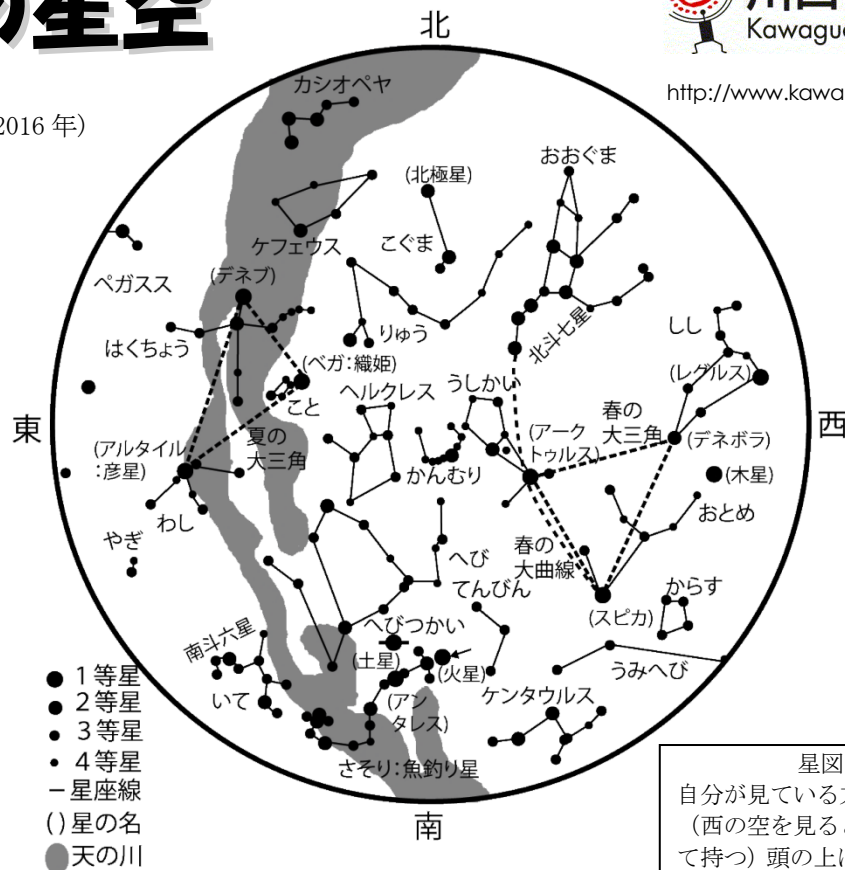


# 今月の星空

7月 (2016年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢 ● 新月 4 日、◐ 上弦 12 日、○ 満月 20 日、◑ 下弦 27 日  
惑星情報 火星 夕方 南 (てんびん座 -1 等級)  
木星 夕方 西 (しし座 -2 等級)  
土星 夕方 南 (へびつかい座 0 等級)

## ☆夏の星座が見ごろ

東の空高くにある明るい星は、「こと座」のベガです。その下には、「わし座」のアルタイル、「はくちょう座」のデネブがあり、この3つの1等星を結ぶと、夏の大三角ができあがります。

デネブは「しっぽ」という意味があります。その名の通り、「はくちょう座」のしっぽで輝く星です。このはくちょうはギリシャ神話の神々の王、ゼウスが変身した姿です。

南の空には火星と土星が見えています。2つの惑星の近くには「さそり座」があります。これは、乱暴者の狩人オリオンを倒すために神様が放ったさそりだと言われています。この星座は1等星のアンタレスを中心にS字型に星が並んでいます。日本では、このS字を釣り針に見立てて「魚釣り星 (うおつりぼし)」などと呼んでいるところもあります。

## ☆七夕 (7日)

「こと座」のベガは「織姫 (おりひめ)」、「わし座」のアルタイルは「彦星 (ひこぼし)」として知られています。今年7日は、この2人が1年に1度、天の川を渡って会うことができるとされる七夕です。この頃はまだ梅雨空のことが多く、見ることは難しいかもしれませんが、晴れていたら、夜空を見上げてみましょう。元々、七夕は旧暦7月7日の行事で、今年は8月9日にあたります。この頃になれば、天気が良く2つの星を簡単に見つけることができそうです。

七夕は、奈良時代に中国から伝来した裁縫の上達を祈願する、宮廷行事「乞巧奠 (きっこうでん)」と日本古来の神様に布を捧げる女性を信仰していた「棚機女 (たなばたつめ)」と呼ばれる風習が合わさり、その原型が誕生したと考えられています。現在のように、笹飾りを作って願い事を書いた短冊を吊るすようになったのは、江戸時代になってからのことです。皆さんも七夕飾りに、願い事をしてみては・・・。